

## 会議録

会議の名称	西東京市公民館運営審議会平成25年度第5回定例会会議記録
開催日時	平成25年8月28日(水曜日)午後6時30分から8時30分まで
開催場所	田無公民館 第二学習室
出席者	委員：中曾根聡、渡辺文子、武司一郎、野間春二、瀬川容子、糸山時子、西原みどり、真鍋五十鈴、畠山昭裕、上田幸夫、新藤浩伸 職員：田中館長、大平主幹、川口館長補佐、小笠原分館長、長谷部分館長、平井分館長、石川分館長、山崎専門員、保谷専門員、星野専門員、伊勢専門員、山本専門員、牧野専門員 欠席者：野澤幸美、小林克彦、馬場真由美 傍聴者：4名
議題	1 第4回定例会の記録について 2 報告事項 (1)行政報告 (2)公民館だより編集室報告 (3)都公連委員会部会運営委員会報告 3 事業計画書・事業報告書について 4 協議事項 5 事務連絡及び情報交換
会議資料の名称	資料1 西東京市公民館運営審議会平成25年度第5回定例会次第 資料2 平成25年度第4回定例会会議録 資料3 教育計画策定懇談会 25年1月からの経過報告
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p><u>議題1 第4回定例会の記録について</u> 訂正なしで了解。</p> <p><u>議題2 報告事項</u> (1)行政報告 ・8月25日(日曜日)、西東京市総合防災訓練が行われた。田無公民館・図書館では帰宅困難者避難訓練が行われた。田無駅で地震により電車が停まった想定で、帰宅困難者を誘導した。参加者15人(市民・職員計)。市長、副市長はじめ関係者20人ほどが視察に来館した。訓練ではあったがスムーズに進行できた。 ・8月30日から9月30日までの予定で、市議会第3回定例会が開催される。一般質問、決算審議が行われる。公民館は補正予算の計上はしていない。 ・都公連の役員会に7月から隔月で館長が出席している。平成27年度、西東京市が都公連の事務局市となる(会長市は東村山市)。関東甲信越静大会を見越して今年度からオブザーバーとして出席しているものである。</p> <p>(2) 公民館だより編集室報告 ・8月1日号について。河口さんの記事はお話すべてを掲載できないのが残念であった。手記を冊子として各館に掲出したところ、田無では3人の市民がコピーをとっていかれ、もっと100冊ほど作るべきという声もいただいている。東京新聞より、河口さん、比留間さんを取材したいので連絡先を教えてください、問い合わせがあった。     だがしや楽校に出店してみたいという問い合わせがあった。     子ども将棋への入会の問い合わせが芝久保に5件あった。 ・9月1日号。例年敬老の日にちなんだ記事を掲載している。今回はシニア世代が暮らしやすい街に</p>	

するべく尽力されている地域包括支援センターを取り上げる。

- ・10月1日号。依頼原稿。「ワークライフバランス～父親の仲間づくり、居場所作り(仮)」。音楽家、音楽療法士の西村直人さんに依頼する。公民館を利用しにくい30代～50代の男性に目にとめてもらう、また、その世代の女性の共感を得ることをねらいとする。

- ・11月1日号。150号であり、これまで心に残った記事を再度取材、掲載する。かつて取り上げた取材対象の「あの人は今」というテーマとする。平成19年12月号掲載の「Soft Voice」、平成24年7月号掲載のブラックミュージック講座受講者の友野旭洋さん取材、掲載する。

- ・研修を振り返って。編集後記の必要性を感じた。

### (3)都公連委員部会運営委員会報告

- ・8月24日(土曜日)第1回委員部会研修を実施、53人の参加を得た。講師の上田委員はじめ皆様のご協力に感謝する。

- ・第2回研修は12月1日に柳沢公民館で開催する。企画を進めているところであり引き続きご協力をお願いする。

### (4)教育計画策定懇談会報告

- ・市民意識調査の結果が冊子となっており、情報公開コーナーで閲覧できる。

- ・ヒヤリングも行われており公民館職員からも綿密に聞き取りされている。

- ・次期教育計画の骨子案ができています。国、都の計画にのっとして検討を進めている。公民館については第3章の5で主に述べられる。

#### 懇談会のメンバーと頻度は

学識経験者、民生委員、社会教育関係団体、学生等10人ほどで構成されている。昨年からは実施しており14回の予定、現在まで10回開催している。素案を作成しパブリックコメントを行う。来年3月に教育委員会に報告する。26年度～30年度の教育の根本となる計画であり、公民館もこれにもとづいて来年度以降の事業計画を立てていく。

「2 学校教育に関する施設・機関」中、「社会に出ていく上で必要な内容を…」とあるが、現状では今以上は無理があるのではないかと。学校教育と社会教育の接点を作っていくような計画になるとよい。

地域の人材をどう活かすか、という論点で、学校と社会教育の連携についても議論が進んでいく方向になっている。

#### 第5回の記載の中の「社会教育と生涯教育の関係」とは

議事録からの引用であるが、生涯教育という包括的な概念と社会教育との関係という意味。特に、若い世代に公民館をどう利用してもらうか、考えている。

#### 公民館への期待感を感じる

当然の議論として、公民館を中心に市民の生き生きとした生活を支える、という議論になっている。

#### 社会教育委員の会議との関係は

そちらからもメンバーが出ている。

#### 計画策定にかかる経費、委託は

委託している。

策定を外部委託し、それに対して懇談会で意見を交わしている、という形のものである。そのような経緯をわれわれも把握しておいた方がよい。

### 議題3 事業計画書・報告書について

主催事業計画書・報告書について改めて専門員から説明

- ・計画書について…目的、目標、学習内容、副次的効果の関係について、等
- ・報告書について…計画書との対応、評価は目標の達成度であること、等

計画書、報告書は館として検討しているのか。  
各館で検討している。

参加者の評価と担当者の評価の関係は。  
連動する部分と、館として客観性をもって評価する部分がある。

達成度のメルクマールは。  
数字に出せないところもあり、また、課題の掘り下げ方の測定方法も鑑み、%設定はしていない。

担当者会議、検討会議の数は  
担当者会議4、検討会議3。

参加者数をどう評価に反映しているか  
対象層、目標に盛り込んでいるかどうかにもよる。  
公民館ならではの事業もあるので、自分は参加者数は気にしないようにしている。  
「事業区分」については経年的な蓄積を考えると、さらに考慮した方がよい。

平成25年度公民館主催事業企画書（16件）報告書（9件）

芝久保・田無：

「地域を考える講座」「KOUINKAN入門」

利用者懇談会と組み合わせて実施することは有意義。

○芝久保：

「自分らしく生きるために 1」

プログラムの内容・講座の運営について、B評価が多いのは。

内容的にはいい講座になったと思うが、地域の担い手となってほしいという狙いがあったところ、半数ほどの参加者がすでに担い手となっている人でありもともと意識も高く、講座の効果としてAとすることはできなかった。

柳沢：

「社会教育を考える講座」

第4回・第5回は内容的に、公開講座にできないか。

今回は若い世代自身に考えてほしいので、公開とはしない。

「人にやさしいまちをつくるチャレンジ講座」

単年度で終わるのか、来年度以降も継続するのか。

来年度、再来年度、とステップアップしていきたい。参加者自身が、自分たちが何を学ぶことが必要なのか考えられるところまでもっていきたい。

ボリュームがある企画だが、サポート体制は

東京学芸大学の倉持先生、杉並区の社会教育主事、福生市職員、都職員と話し合いながら進めてきた。

ひばりが丘：

「地元で働くことを考える」

テーマに期待する。地域の活性化は当事者が主人公。三幸タクシーの町田氏も推薦したい。

改めてお話を伺いたい。

○ひばりが丘・谷戸：

「ティーンエイジャーの働き方」「谷っ戸子やってみ隊」

参加者数が少なかったのは残念。学校関係のリサーチが不足している。私自身の活動ではPTAに話を持ち込むことで成功した。参考にしてほしい。館同士の情報交換も密にしてほしい。講師にキャンセルすることがないようにしてほしい。

芝久保：

「子育てに役立つコーチング」

受講者の100パーセントが主催講座に初めて参加したということで驚いた。乳幼児を持つ母親の学習ニーズを感じる。

「親子で陶芸」

欠席者がゼロというのは相当魅力的だったことが窺える。

ひばりが丘：

「ティーンエイジャーの働き方」

事業区分は青少年では。

予算の支出区分にもとづいている。考え直す必要はある。

「現実味を持ってもらえた回とそうでもなかったかもしれない回」とは。

参加者によって現実味を持ってもらえる回は異なったようである。

通しの企画は参加しにくかったのではないかと残念である。

途中から単発参加を可として参加者がやや増えたのは事実であり、工夫の余地があった。

学校と公民館の連携は重要であり、公民館として何か働きかけが必要と感じた。

学校訪問をして先生、保護者に評価されても蓋を開けてみると応募が厳しいことは多い。しかしここで働きかけをやめては負けだと思っている。

#### 議題4 協議事項

特になし

#### 議題5 事務連絡及び情報交換

・関東甲信越静公民館研究大会について

保谷庁舎に午前4時50分に集合、午前5時出発。受付午前9時。終了午前11時50分。午後5時～6時に帰庁予定。

須磨田前委員が発表者として参加する。

次回の日程について

9月25日(水曜日)午後6時30分 於:田無公民館 第二学習室